

伝統の山挽、 小城祇園夏祭り



中町 nakamachi



上町 kamimachi

700年近い歴史を持つ「小城祇園夏祭り」。
祭りに関わる人々と取組みをご紹介します。

7月の第4日曜日、この日は小城町が熱く盛り上がる、「小城祇園夏祭り」の日。祇園夏祭りは「前夜祭」と山を挽く、本祭りの2日間に渡って行われます。

上町、中町、下町地区は、それぞれ須賀神社を目指して巨大な山を挽いていきます。

男たちの力強いかけ声、子どもたちが打つ締太鼓のリズム、カルな音色や元気いっぱいのかげ声が空に響き渡ります。

華やかな山

山には昔の軍事訓練の名残りから2体の凛々しい武将が飾られています。

昨年の山挽きの様子をご紹介します。

一番手を走る鮮やかな朱色の山は上町。テーマは「大阪冬の陣」。伊達政宗と真田幸村の武将が飾られ、青いハッピを来た男たちが力強く挽いていきます。

二番手の迫力のある龍が飛び出した山は中町。「龍伝」をテーマに勇壮な上杉謙信と武田信玄が飾られ、白いハッピの男たちが勢いよく山を挽いていきます。

三番手は昔ながらの手作りの山の下の町。「白石城の戦い」をテーマに伊達政宗と上杉景勝を担ぎ、子どもたちの「エンエンエンヤッ



下町 shimomachi



須賀神社 南里宮司



「小城祇園夏祭り（山挽祇園）」は、700年近い歴史を誇る小城の伝統行事です。

その起源は、鎌倉時代末期に関東から来て、小城の町を造った千葉胤貞^{たねさだ}が、軍事訓練を兼ねて、祇園会の祭りに山挽き神事を行ったことによります。

五穀豊穡・疫病退散・地域の安全を祈願する祭りとして、千葉氏滅亡後も、小城藩主となった鍋島家によって受け継がれ、今日に伝わっています。祇園には1月の花紫祇園、7月の山挽祇園、9月の柿祇園の三大祇園があり、中でも7月の山挽祇園は男らしく勇壮です。

藩政期の祭りの盛況ぶりは「見事見るには博多の祇園、人間見るには小城の祇園」とうたわれたほどでした。

同神社はもともと祇園社でしたが、明治期の廃仏毀釈により須賀神社になりました。こうしたことから今でも親愛の情を込めて、“お祇園さん”と呼ばれています。

昔は見物客も多く、大変賑わっていましたが、今では大分減って来たように感じます。また、以前の賑わいを取り戻せたらと思います。

サー、ヤーこの山はたいへい
じゃー」の掛け声に合わせて、大
太鼓が鳴り響きます。
毎年この日は須賀神社周辺がい
つもと違った雰囲気になります。

祭りの支度

上町・中町・下町地区のどの山もそれぞれ創意工夫されていますが、その中でも昔からの材料と組み立て方を受け継がれているのが下町の山竹と藁と縄で造られたこの山鉾は、千葉胤貞の時代を彷彿とさせます。山おこしには、地域の子どもから大人まで総出で取組まれています。昨年の山おこしの様子をご紹介します。



◆櫓の格子作り

下町公民館では役割分担し作業が進められています。女性は竹の笹を削ぎ、男性は山を組むための藁をハンマーで叩き、しならせます。また、一方では、櫓の格子を作るため、竹に縄を編んでいきます。縄はしめ縄になっており、編み方も受け継がれてきた方法で編まれています。



こゝが格子です

於保芳彦さん 元下町区長／前小城町山鉾保存会会長

「子どもの頃から音頭取りや挽き手として参加していました。とにかく楽しかった思い出ばかりで、今でも太鼓の音が聞こえるとそわそわしてきます。祭りの時に祖母が浴衣を新調してくれていたことも懐かしい思い出です」と。祭りの伝統の火が消えないように、と様々な資料をまとめ継承のため尽力されています。



◆人形作り

下町公民館の中では人形作りが行われています。毎年、テーマに合わせ、華やかで力強い武将の人形が作られます。人形の本体に武将に合わせた表情、化粧を施していきます。また、祇園祭りは別名「うちわ祇園」とも呼ばれており、その由来となる大きなうちわも作られています。



◆塩水汲み

縁起担ぎのために行われている「塩水汲み」。祭りの1週間前の朝一番に有明海から葦と海水を汲み取り、それを須賀神社にて、清めてもらいます。清められた葦と海水を子どもたちが町内の家々を回り、配ります。小さい時から子どもたちだけでやっているの、しっかり務めています。

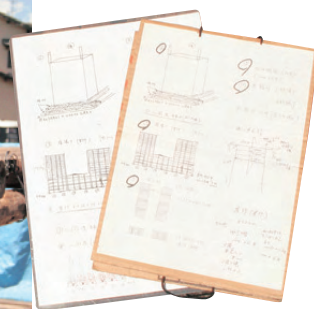


清められた葦



大石吉次さん

「私は20歳頃に下町に越して来まして、山の挽き手として参加しました。祭りは昔から大好きで、それから50年が経ちます。」。手先が器用な大石さんは山の壁を組むためのしめ縄作りを得意とされています。最近では農家の人が少なくなり、しめ縄の編み方を知っている人も減って来ている中で、大事な存在です。



◆山の組み立て

山の骨格となる丸太を、檣に縄でしっかりと結びつけて行きます。檣と台車の固定が完成したら、次に丸太と竹を使って檣の周りに床を作ります。ここが子どもたちが棒を振る、舞台となります。その後、格子を檣の壁として取付けますが、大人の男性が数人がかりでもかなりの力仕事です。



前夜祭・本祭り

7月

23日(土)
24日(日)

◎19時開始予定
◎出陣式10時
◎上り山10時
◎下り山17時30分

昨年の様子



練習の成果も披露です!



荘厳に輝く夜の山



祈願のために須賀神社へ



笑顔に癒されます



幻想的な須賀神社



本祭りの安全祈願



大活躍の子どもたち



灯籠の灯りで「小城の『小』」



町を巡ります



お水、気持ちいい〜!



お茶の振る舞い



太鼓の音色が響きます



♪ 祇園コンサートを開催!

夏の夜空に爽やかな音色が響き渡ります。

日時 7月23日(土) 18:00 開場
18:30 開演

会場 小柳酒造

出演 ミック&スティングレー
(昭和のミュージック)

入場無料

